

分科会 4 学生とはなす。働くこと。暮らすこと。子育てすること。

【日時】2022年11月26日（土） 10:30~12:00

【場所】札幌エルプラザ 4F 大研修室/オンライン（ZOOM）

【主催団体名】ファザーリング全国フォーラム in 北海道実行員会、札幌市

【進行役】丸山宏昌（ファザーリング・ジャパン北海道共同代表）

【実施内容】

実施概要

今回は、オンライン、オフラインの同時での開催となり、同時進行で同じテーマについて議論を行った。学生と大人が交流するというテーマを掲げ、キャリアのことや家庭での生活のことを参加者の各目線から議論するワークショップ形式での分科会となった。またこの分科会は、札幌市がダイバーシティな都市を目指していくプロジェクト『#SAPPORODIVERCITYPROJECT』の一環で開催された。参加者は地元札幌の人のみならず、三重県や山形県など、全国各地からの参加があった。

主な内容

「ぶっちゃけどんな子供でしたか？」や「親に言ってしまって後悔していること、嬉しかったこと」などの家庭での会話を中心としたテーマで、グループに分かれての意見交流を行った。その内容を模造紙でまとめ、ワールドカフェ方式での意見交流を行った。

各グループ個性のある意見が活発に出されており、多種多様なグループワークとなった。グループワークの中では、昔の親子関係と今の親子関係が異なっていることが多くのグループで話し合われており、学生、親世代ともにそのことに対して驚く場面が印象的だった。

分科会 5 伝えてますか？帝王切開出産の準備&産後のサポート～パパ編～

【日時】2022年11月26日(土) 10:30～12:00

【場所】札幌エルプラザ 中研修室

【主催団体名】FJカイザーパパプロジェクト

【登壇者】

一之瀬幸生 (NPO 法人ファザーリング・ジャパン カイザーパパプロジェクト リーダー)

棒田明子 (NPO 法人ファザーリング・ジャパン 理事)

関根進 (ファザーリング・ジャパン 北海道)

【実施内容】

どの家庭にも可能性がある帝王切開出産について知り、家族が笑顔で出産と産後を過ごすために、パパたちへ帝王切開出産についてどう伝えていくか考える。

～プログラム～

1. 北海道の産科医療の現状
2. 北海道における「両親教室」の現状
3. 北海道における育休取得状況について
4. カイザーパパプロジェクトについて
5. パパのためのリーフレット
6. 私たちにできることは？

参加者：自治体職員、助産師など

特別参加：横手 直美 (中部大学 生命健康科学部 准教授・助産師)

細田 恭子 (帝王切開カウンセラー)

前半は、カイザーパパプロジェクトメンバーよりプログラム 1～5 を伝えた後、後半は、パパに帝王切開出産について知ってもらうために私たちにできることについて参加者全員でディスカッション行った結果、様々なアイデアが出た。

～アイデアの例～

○帝王切開出産の周知

- ・両親教室を担当する保健師等の職員向けの研修に盛り込む
- ・両親教室で伝える (義務化)
- ・企業の研修 (育児休業、ハラスメント等) に盛り込む
- ・学校教育 (保健科目等) に盛り込む
- ・義務化に向けて、課題認識してもらう (メディアや有名人、SNS 炎上など注目を浴びる仕掛け)
- ・リーフレットの活用

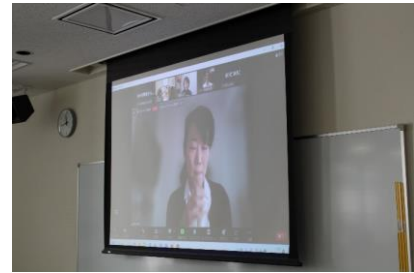
○リーフレットの活用

- ・自治体が母子手帳を配布する際に併せて配布
- ・両親教室でリーフレットを配布
- ・妊婦向けの資料に入れるなど義務化

また、帝王切開出産や産後はどのような様子なの？についても意見交換が進み、横手氏、細田氏の助言をいただきながら理解を深めた。

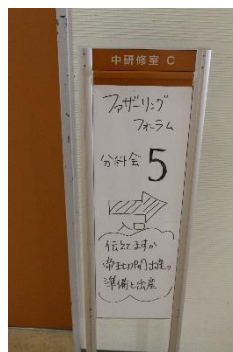
今後のアクションとして、参加者からの宣言

- ・保健師向け研修でリーフレットを使って伝えていく
- ・企業向け男性育休研修にてリーフレットを紹介する
- ・周囲に伝えていく



今回の参加者は帝王切開出産経験者（本人又はパートナー）ではなかったにも関わらず、ワークショップ終了時には、「出産を控える全員（本人及びパートナーなど家族）が帝王切開出産について知っておく必要性を感じた」、「パパたちに知ってもらえるよう周知していきたい」などの感想があった。帝王切開出産について具体的な情報を知る機会をつくることで理解が進んでいくと感じた。

今後、NPO 法人ファザーリング・ジャパンホームページにて、「パパのためのリーフレット」ダウンロードページを作成（予定）し、他人事ではない帝王切開出産を周知していく。



分科会 6 親子で作ろう！親子で遊ぼう！「木育」体験ひろば

【日時】2022年11月26日（土）10:30~12:00

【場所】札幌エルプラザ 工芸室

【主催団体名】ファザーリング全国フォーラム in 北海道実行員会

【登壇者】

齊藤 文美（ようてい木育倶楽部部長）

齊藤 香里（ようてい木育倶楽部）

【実施内容】

親子で木工体験による「遊び」を通じ、親子のコミュニケーションを図るとともに、身近な森林、森のこと、木のことを学んだ。

参加者：親子1組、パパ3名

1 木のこと、森のことを学ぼう

木の葉から木のことや森のことを学んだ。

2 葉っぱのパズルづくり

ようてい木育倶楽部が開発・制作した「葉っぱのパズル」を親子で完成させた。

初めての糸鋸に最初はみんな苦戦していましたが、最後にはうまく切り抜くことができた。

会場のスタッフも参加し、それぞれが好みの色を塗り、「葉っぱのパズル」を作り上げた。

通常のパズルは、はめ込み方法が一通りだが、このパズルは何通りもある（数えきれない？）。親子で苦労しながらチャレンジ！なかなか完成できないパズルに、子どもよりもパパがだんだん夢中になった。

結果的には、時間内では完成することができず、家に帰ってからの楽しみとなった。



分科会 7 イマドキ部下や学生たちが求めるボス像とは～

「押しボスプロジェクト」に見る、これからの上司と部下・チームのカタチ

【日時】2022年11月26日(土) 13:00～14:15

【場所】札幌エルプラザ 大研修室

【主催団体名】FJイクボスプロジェクト、FJ押しボスプロジェクト

【登壇者】

河端 良輔 (会社員(経理職、非管理職))

関根 進 (地方公務員(北海道)。FJ賛助会員)

林田 香織 (ワンダライフLLP 代表/NPO法人ファザーリング・ジャパン理事)

塚越 学 (NPO法人ファザーリング・ジャパン理事、押しボスプロジェクト推進リーダー
イクボスプロジェクト・コアメンバー)

【実施内容】

1. 押しボスプロジェクトの概要
2. 押しボスとイクボスの違い



3. 推しボス全国アンケート結果の公表と分析

- 実施期間：2022年9月17日～10月31日
- アンケート方式：インターネット（Google フォーム利用）
- 対象：大学生から社会人まで男女問わず働く全ての人【期間内回答数】：182

アンケート結果

推しボスの条件（世代分析）

総合順位

- リーダーシップ重視
- バックアップ重視
- 人柄重視

①考えが柔軟	10.1%
①仕事サポート・バックアップしてくれる	10.1%
③チームをひっぱってってくれる	10.0%
④部下・後輩にやさしい	9.7%
⑤情に厚い・親身になってくれる	7.2%
⑥頭がさける	6.5%
⑦コミュニケーション能力が高い	6.1%
⑧ポジティブシンキング	5.3%
⑨責任感が強い	4.7%
⑩部下・後輩を鼓舞してくれる	4.7%

30代以下

①部下・後輩にやさしい	14.4%
②仕事サポート・バックアップしてくれる	11.2%
③情に厚い・親身になってくれる	9.3%
③考えが柔軟	9.3%
⑤チームをひっぱってってくれる	8.3%
⑥頭がさける	6.0%
⑦ポジティブシンキング	6.9%
⑧コミュニケーション能力が高い	5.0%
⑨メンタルケアが手厚い	4.5%
⑩部下・後輩を鼓舞してくれる	4.5%

40代以上

①考えが柔軟	12.3%
①チームをひっぱってってくれる	12.3%
③仕事サポート・バックアップしてくれる	10.3%
④コミュニケーション能力が高い	7.5%
⑥頭がさける	7.1%
⑥責任感が強い	6.5%
⑦公平性が高い	5.4%
⑦ポジティブシンキング	5.4%
⑨部下・後輩を鼓舞してくれる	5.2%
⑩情に厚い・親身になってくれる	4.2%

上位3つを比較すると、30代以下は「人柄重視」2つと「バックアップ重視」1つ。40代以上は「バックアップ重視」2つと「リーダーシップ重視」1つと明らかな違いが出た。また40代以上の上位10個のうち半数が「リーダーシップ重視」30代以下4個が「人柄重視」となっていて全体像にもギャップが見られる。そんな中でも30代以下で「情に厚い・親身になってくれる」「チームをひっぱってってくれる」が上位に入っていることからボスに頼りたいという姿勢も見られる。

さらなる年代分析により、10代と20代の一位は「部下・後輩にやさしい」が顕著であった。

4. 推しボスアワードからみるこれからの上司と部下、チームの在り方とは

	No1 小西信幸さん 「プライベートも仕事も充実させちゃう 最強の上司で賞」 学生審査員「一推し」 大人審査員「二推し」
	No2 Siddharth Arikadiさん 「ワーク・クール！ ライフ・ウオーム！で賞」 大人審査員「一推し」
	No3 遠山雄太さん 「モチベーションを 急増させてくれるで賞」
	No4 平野朝霧さん 「一緒に働けば、 誰もがお仕事頑張れちゃうで賞」 大人審査員「三推し」
	No5 石丸海渡さん 「絶対的信頼をおける上司で賞」 学生審査員「二推し」
	No6 阿久津裕史さん 「姿と言葉でしっかり引っ張るで賞」
	No7 一本垂矢子さん 「チームと一緒に会社を変えたいで賞」
	No8 佐藤健明さん 「推し「パパ&ボス」で賞」 学生審査員「三推し」



登壇者の関根氏と川端氏がお勧めの「推しボスアワード受賞者」の推しボスプレゼン動画を改めて見直すとともに、受賞企業のコメント、学生審査員のアンケート結果、学生審査員を輩出した教育機関等からのコメントをもとに、これからの上司と部下、チームの在り方を議論した。

分科会 8 思春期こそ社会参画を」～子どもが諸問題から脱却するヒケツとは～

【日時】2022年11月26日(土) 13:00~14:15

【場所】札幌エルプラザ 中研修室

【主催団体名】FJコチカラプロジェクト

【登壇者】

川島 高之 (NPO 法人ファザーリング・ジャパン 理事)

八坂 貴宏 (NPO 法人ファザーリング・ジャパン コチカラ PJ リーダー)

谷内 政昭 (NPO 法人ファザーリング・ジャパン北海道)

蓼田 雅 (NPO 法人ファザーリング・ジャパン会員) ※オンライン

馬場 義之 (NPO 法人ファザーリング・ジャパン九州 理事) ※オンライン

【実施内容】

◎冒頭オリンテーション

- ・趣旨説明と登壇者等の紹介

◎FJ川島氏「我が子のチカラ」を、信じよう”

- ・我が子から逃げずに向き合う／社会のウィンドウになる／笑っている親でいる
そして、我が子のチカラを信じる
- ・我が子のチカラを信じたら好きな事、得意な事、役立つ事の機会を、出来るだけ与える
- ・あとは、我が子が「自己決定」するのを、待つだけ

◎思春期のリアル

- ・新 FJ スクール思春期講座の内容紹介
- ・思春期講座の講師、蓼田氏とのオンライン対談
- ・受講者の声アンケート結果&実際の声 (オンライン: 馬場氏)

◎PJリーダー八坂氏 “パパはメンター”

- ・子どものチカラを最大限引き出すための関わり方 (見本・信頼・支援) について、対極 (権限・要求・強制) との違いを、具体的事例を踏まえて講義した。

◎会場内トーク

- ・これまでの内容を含めて、来場者の方々と思春期の子どもを持つパパとして、どのように関わっていけば良いかをディスカッションした。

概ね「信じて待つ」「パパ自身が人生を楽しむ」など、子どもをどうさせるかといったコントローラー的関わりではなく、パパ自身のあり方に関わるポジティブな意見が多数出た。



分科会 9 男性の育児休業のススメ～法改正のポイントと育休取得のメリットや取組事例～

【日時】2022年11月26日(土) 13:00～14:15

【場所】札幌エルプラザ 環境研修室

【主催団体名】厚生労働省(委託事業「男性の育児休業取得促進事業」)

【登壇者】

本間 あづみ(社会保険労務士法人 MIKATA 代表社員、特定社会保険労務士、IT コーディネーター、札幌中小企業支援センター「ひとサポ(人材確保・テレワーク導入相談窓口)」アドバイザー)

【実施内容】

- 13:00～13:45 本間講師から資料に沿って説明

(説明内容)

- ・男性の育児休業取得の現状と課題
- ・育児休業制度の概要
- ・育児休業取得のメリット
- ・育児休業取得者の体験談・企業の取組事例
- ・育児・介護休業法における不利益取扱いの禁止、ハラスメント防止措置について
- ・育児休業についてのQ&A

- 13:45～14:15 グループワーク

(内容)

- ・出席者を4名2グループに分けてグループワークを実施
- ・20分間をグループ討議に充て、10分間をグループ代表者からの発表とした
- ・テーマは、「育休を取りやすい職場とは?～職場環境について考える～」
- ・各グループとも活発な討議を行っていた。グループからの発表としては、「マネージャーは普段から従業員とよくコミュニケーションを取っておくことが大事」、「仕事を属人化させないために普段から誰が休んでも回る職場づくりをしていくべき」などの意見が上がっていた。

分科会 10 パパ写真講座「家族の笑顔の増やし方～パパが写真をはじめたら～」

【日時】2022年11月26日(土) 14:30～15:45

【場所】札幌エルプラザ 大研修室

【主催団体名】ファザーリング・ジャパン

【登壇者】加藤雄一（笑顔写真家えがお先生）

【実施内容】

本分科会は育児休業を取得する人から、主に乳幼児期・児童期のお子さんをもつ父親に向けて、写真を使った家族とのコミュニケーション方法を学んだ。

（プログラム）

1. パパ写真が家族を笑顔に！？
2. パパ写真の極意
3. 妻が喜ぶ写真って何？
4. スマホカメラの裏ワザ機能
5. 写真でできる！パパたちの関係性

■ 内容①父親が写真をはじめることの魅力

「パパ写真」とは家族を見守る視点で撮られた写真のこと。パパが写真をはじめると、家庭だけではなく、近所の人たちや地域の笑顔を増やしていける。参加者の方に、「普段、子どもや家族の写真は撮りますか？」と質問をして、会場全体でリアルなパパの姿を把握し、どのようなコミュニケーションを通して、家族の写真を撮ってあげたいのかを考えた。



■ 内容②母親の笑顔のためにできること

妻が喜ぶ写真について考えていき、男性の視点と女性の視点のちがいを理解し、妻の笑顔のために写真を撮ることの重要性を伝えた。クイズ形式で進行したことで、参加者全員が発話をし、父親同士で物事を考えてもらうきっかけにもなった。



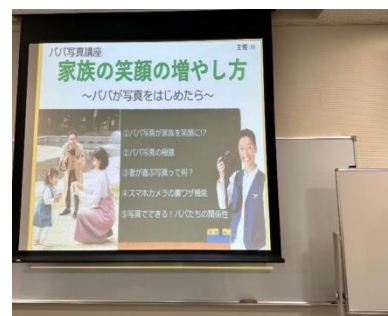
■ 内容③スマートフォンのカメラを使ったコミュニケーション

各家庭ですぐに実践できるコミュニケーション技法の習得を目的に、父親がスマートフォンでできる撮影テクニックを実技とワークショップを交えて行った。参加者も目の前に子どもがいることを仮定して、実際に手を動かして、学んだ。



■ 内容④写真を使った父親支援の方法

実例を元に、様々な自治体で実施している父親支援のイベントや方法をレクチャーした。実際に父親同士で作成しているフォトブック等も手に取ってもらい、写真のある子育ての魅力や父親支援の可能性を考えていった。



分科会 11 サステナパパPJ

【日時】2022年11月26日(土) 14:30~15:45

【場所】札幌エルプラザ4階 中研修室

【主催団体名】FJ サステナパパPJ

【登壇者】

安藤 哲也 (NPO 法人ファザーリング・ジャパン ファウンダー・代表)

事例1: パパの日「全国」一斉清掃活動 (三重県)

川添 賢一 (子育て支援団体「ミエメン」代表)

事例2: イキメン実践プロジェクト (関西、大阪)

浅山 貴宏 (ファザーリング・ジャパン関西 理事)

事例3: NPO 法人みよしの自然環境を守る会 (愛知県みよし市)

河合 利彦 (NPO 法人みよしの自然環境を守る会 役員)

【実施内容】

はじめにサステナパパプロジェクトの安藤代表から挨拶があり、子育ての次のステージにある地域や社会に目を向けソーシャルアクションが、徐々に拡大していることを話しました。そのうえで、ロールモデルとして各地域で取り組まれている3つの活動をしているパパに声をかけた。

①事例1 パパの日「全国」一斉清掃活動

- ・ミエメンは、パパ達が自分達の特技を活かして、ななめの関係をつくるイベントを沢山開催してきた。
- ・これまでの取組の一環として、全国のパパサークルやパパに呼びかけて、「全国パパ清掃活動デー」を実施(2022年6月12日8:00スタート)
- ・全国どこでも誰でもできる「ごみ拾い」は一番手軽にできる地域活動である。
- ・主な内容は、同じ日、同じ時間から全国のパパがそれぞれの地域で清掃活動を行うだけであり、家の周りを一人、子どもと一緒に公園や、地域のパパ活動として大人数で地域の海岸の清掃などを取り組まれた。
- ・Zoom でつないでのスタートセレモニーや、終了後、任意のパパで振り返り会を行う。
- ・参加することを通じて、パパに地域活動に関心を持つきっかけを作り、サステナブルな活動に関心を持つパパを増やし、パパの交流のきっかけにもつなげる。

②事例2: イキメン実践プロジェクト

- ・日本昔ばなし風に、イキメン実践プロジェクトができた経過を説明することで、本プロジェクト目的などを説明
- ・審議会を「地域のアツい住民と繋がれる場」として捉え、地域課題に目覚めた「イキメンパパ」が、「審議会の『市民公募枠』を利用して審議会に参画」することで、「地域貢献」と、「自身の成長」の機会を得て、そして実践により、「より良い地域を次世代に残す」(サステナブル)ことを目的とした、NPO 法人ファザーリング・ジャパン関西の全国プロジェクトであることをアツく語られた。
- ・会場で、このプロジェクトで作成した審議委員の入門編「リーフレット」が完成し配付された

③事例3：みよしの自然環境を守る会

- ・自然豊かなみよし市において、自然を守ることを通して、世代に関係なく楽しみながら様々な活動をしている。
- ・田んぼでの、お米の栽培をしている。田植え、草取り、稲刈り、収穫祭などを通して、団塊世代や、現役世代、大学生や子どもたちが徐々に増えていった。
- ・また、自然が豊かなので、生き物観察、夜の観察会、写真展などはとても親子、家族に人気があり大勢に家族が参加し、様々な繋がりきっかけにもなっている。
- ・収穫祭では栽培したお米を使って、昔ながらの機械を使ったポン菓子を実施し、大人気である。団塊の世代の力が発揮できることや、それに興味を持った現役世代、子どもたちが力を合わせて活動している状況が話された。
- ・多世代にわたる活動になり、今後も、ビオトープ整備などを通じて地域活性化をしていく。

④登壇者でのパネルディスカッション

- ・こういった地域活動を通して分かることは、地域のことを「考える場」がなく、事例にあったような現役世代がその場を提供することが、今後も地域で繋がりをもつ重要な事であることが話された。
- ・現役世代が地域で活動するためには、仕事だけではなく、兼業や多様な働き方の変革がとても求められているし、制度が拡充することで徐々にこういった事例が出てきていると感じていることが話された。
- ・行政側も地域で率先して取り組まれることについては、とても応援してくれる。
- ・また、地域においてキーパーソンになる人が、数人出るだけで大きく変わる。FJメンバーはとても意識が高いので、サステナパパ、現役世代がもっと全国のあらゆる地域で増えていけば、大きく変わっていくのではないかと話された。



分科会 12 男性育休って実際どうなの？～経験者と語る座談会～

【日時】2022年11月26日（土）14：30～15：45

【場所】札幌エルプラザ 2階環境研修室

【主催団体名】パパ育休プロジェクト

【登壇者】

- ・会社員男性、36歳、2020年12月から2か月育休取得（第2子）
- ・地方公務員男性、34歳、2022年4月から4か月育休取得（第1子）
- ・パパ育休プロジェクト 藤村侯仁（ファシリテーター）

【実施内容】

ファシリテーターの進行で、登壇者2名を中心に会場参加者を巻き込みながらフリートークセッションを行った。

まず、登壇者2名の自己紹介の後、

① 育休取得前の状況として、

- ・子どもが生まれる前の働き方、家庭生活や夫婦の役割は？
- ・なぜ育休を取ろうと思ったのか？
- ・育休取得を会社に伝える時に、悩んだことや障壁になったことは？
- ・会社にはどのタイミングでどのように伝えたのか？
- ・育休に入る前に、仕事面でやったことや工夫したことは？

② 育休期間中のことについて、

- ・育休中はどのように過ごしたのか？
- ・当初、思い描いていたように育休期間を過ごせたか？

③ 職場復帰後の働き方や家庭生活について、

- ・復帰後の勤務先からの評価や待遇は納得のいくものだったか？
- ・復帰後から現在の働き方、または家庭生活や夫婦の役割の変化は？

等について話を聞き、会場参加者も交えて意見交換した。

中には、育休中に妻から怒られたことや、育休取得の希望を職場に出した時に失敗したことなど、この場でしか聞けない実体験を共有することができ、男性の育休取得に関して新たな発見や学びが得られる場となった。

Special Content1 第26回札幌おさがりくるりん（おさがり交換会）

【日時】2022年11月26日（土）10:30～15:00

【場所】札幌エルプラザ 1F 情報センター内

【主催団体名】ファザーリング全国フォーラム in 北海道実行委員会、北海道、
一般社団法人相互支援団体かえりん

【実施内容】

子どもの不要になった洋服を、参加者間で交換するイベント。

物々交換ではなく、サイズアウトしてしまったけれどまだ使える子供服を先に寄付してもらったものを（おさがり回収を行っている）当団体が一時的に保管し、イベント開催時に持ち出し会場に設置、イベントに参加した方々が好きなものを自由に袋一杯に詰めて持ち帰るという形式で運営している。

本イベントでは、妊婦～10歳くらいの子供を持つ親子49世帯130名が参加した。

Special Content2 洋食屋さんのチーズハンバーグを親子で作ろう！トモシヨク料理教室 協力：マルコメ

【日時】2022年11月26日（土）10:15～13:00

【場所】札幌エルプラザ 2F 食材研究室

【主催団体名】NPO法人ファザーリング・ジャパン トモシヨク Project

【登壇者】

滝村雅晴（パパ料理研究家／株式会社ビストロパパ代表取締役／トモシヨク Project リーダー）

【実施内容】

親子で作って、みんなでトモシヨク（共食）！失敗しない塩麴で作るチーズハンバーグのヒケツを、パパ料理研究家の滝村雅晴が伝授。参加者と楽しく作って美味しくトモシヨクした。塩麴で作るハンバーグは、ふわふわジューシーで絶品。何度も作りたくなるハンバーグを作ってもらった。子供達も自分で作ったハンバーグに大喜びだった。みんなが料理で自由になれる社会、トモシヨクを楽しめる世の中をトモシヨク Project はこれからも創っていきたくと考えている。

メニュー：

生塩麴で作るチーズハンバーグ／オーロラソースかけサラダの1プレート／鍋で炊くごはんの料理実演

*参加者に、マルコメ「プラス糀 生塩糀」をプレゼント。協力：マルコメ株式会社



Special Content3 パパ's 絵本ライブ

【日時】2022年11月26日(土) 12:10~13:30

【場所】札幌エルプラザ 1F 情報センター内

【主催団体名】パパ's 絵本プロジェクト

【登壇者】

西村 直人 (音楽家・音楽療法士)

安藤 哲也 (NPO 法人ファザーリング・ジャパン 代表理事)

伊藤 新 (ファザーリング・ジャパン北海道 共同代表)

【実施内容】

絵本ライブとは、絵本に歌をつけた音楽ライブ、お笑いライブ、絵本の読み聞かせなどの要素を組み合わせたライブである。

音源にあわせて、ウクレレ、エレキギター、カホン、そして3人のハーモニーにより、子どもから大人まで誰もが楽しめるライブを実施。会場では、子どもはもちろん、保護者や会場の職員も音楽に合わせて踊り出すなど、参加者みんなが一緒になって盛り上げてくれた。



Special Content4 いろいろどりダンスプロジェクト

【日時】2022年11月26日(土) 14:30~15:45

【場所】札幌エルプラザ 1F 情報センター内

【主催団体名】キッカケノバ

【登壇者】

青木 美紀 (作業療法士)

佐々木 あゆみ (ダンスインストラクター)

【実施内容】

「手話ダンス」と「感覚遊び」を前半・後半に分けて実施。参加者は障がいを持っている方も対象とし、会場では車椅子での参加も想定した配置とした。実際に2組の親子が車椅子で参加してくれた。そのほかにも脳性麻痺、側湾症、発達障害のお子様などもおり、それぞれが自分のスタイルで参加することが出来ていた印象です。また同時にミニ写真展も展示しました。

「手話ダンス」ではYOASOBIの「ツバメ」を手話を取り入れた簡単なダンスにアレンジし、子どもから大人までみんなで楽しみながら、かつ手話表現も学べる内容にした。事前にすでにYoutubeに動画を上げてあり、フライヤーにQRコードを添付したこともあり、事前に練習して参加されている方もおり、それぞれの手話の手の動きにはこのような意味があると実際に目の前でやることで習得しやすい環境を作ったり、麻痺の方は足のステップを無しにして手だけに集中できるように、登壇者は立位と座位に分かれて実施した。

「感覚遊び」では、前半にプチ講座として力加減の感覚「固有感覚」について子どもたちにもわかりやすいようにまとめたプレゼンを実験をしながら行った。これには普段、子どもの発達についてお母さんに一任することが多く、あまり触れることがないお父さんにぜひ、知ってもらいたいという思いから行っています。子どもたちも飽きることなく最後まで集中して聞くことが出来、終了後は保護者よりとても勉強になりましたという声も聞かれた

また後半のゲームでは、あらかじめお父さんがくると予測していた為、お父さんがみんなの前で活躍できるようなゲーム“人間椅子”や綱引きを行い、子どもたちをはじめ、母親、他の参加者から笑いと共に一緒に応援しながら一体になり拍手が沸き起こる場面が沢山あった。また、父親のかっこよさ、一緒に参加する楽しさを提供できる良い機会ともなった。

基調講演 助産院工・ク・ボ 高室典子院長

【日時】2022年11月26日(土) 16:15~17:00

【場所】札幌エルプラザ 大研修室

【主催団体名】ファザーリング・ジャパン

【登壇者】

高室 典子(助産院工・ク・ボ 院長)

【実施内容】

目的：男性育休について、当事者である父親の理解を深める。

男性が育児休暇を取ることが目的にならないために、母親をサポートしながら、育児の当事者としてスムーズに育児に入れるようにするためには、育児が始まる前からの夫婦のコミュニケーションをとっていることが大切。また、産後も慣れない赤ちゃんのお世話で時間はなくなるが、常に夫婦で話し合い、ミスコミュニケーションを多発させない工夫が必要。産後の母体は大変弱っており、精神状態も不安定になっているということを前提として接していくということが大切など、多くの母親と新生児をサポートする助産師という立場から具体例を交え分かりやすくお話いただいた。



閉会式

【日時】2022年11月25日（土）17:00～17:15

【場所】札幌エルプラザ 大研修室

【主催団体名】ファザーリング全国フォーラム in 北海道実行委員会

【登壇者】

安藤 哲也（ファザーリング全国フォーラム in 北海道実行委員長）

【実施内容】

各分科会主催者からの実施報告と、安藤実行委員長と伊藤ファザーリング北海道代表による総括で2日間を振り返った。

